

# 農林水産省における食文化発信の取組

平成29年12月  
農林水産省

# 国内外に向けた日本食・食文化の発信

## 外国人から期待される日本食

海外では、訪日前の外国人観光客が期待することの1位が「食事」、好きな外国料理でも「日本料理」が1位に挙げられている。さらに、海外の日本食レストラン数も近年大幅に増加する傾向にある。

## 和食ブーム

- 訪日外国人観光客が「訪日前に期待していたこと」(全国籍・地域、複数回答)  
**1位「日本食を食べること」(69.7%)**

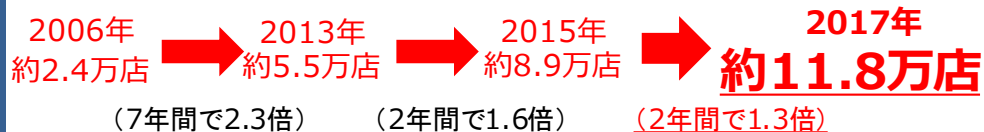
出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」平成27年度年次報告

- 外国人が好きな外国料理  
**1位「日本料理」(66.3%)**

出典：日本貿易振興機構調査(2014年3月)

※複数回答可、回答者数に対する回答個数の割合(自国の料理は選択肢から除外)

- 海外の日本食レストランの数



出典：外務省調べ、農林水産省推計

## 和食文化と地域食文化の継承

食習慣を変えることに抵抗の少ないライフステージにある層を中心に、和食文化の普及活動や情報発信を実施することで、ユネスコ無形文化遺産に登録された和食文化の次世代への継承に取り組む。

## 次世代を担う子ども達に対して

子どもたちによる地域の食文化の発信をメディア等と連携して行うなど、和食文化の魅力等の効果的な情報発信により、保護・継承に向けた機運を醸成



## 食育を通じて

郷土料理など地域の食文化の継承や、和食給食の普及などを行う地域の関係者が連携して取り組む食育活動を支援し、地域の魅力の発信力を向上

## 子育て世代・若者世代に対して

幼少期の子ども、育児期のパパ・ママ等、食習慣を変えることに抵抗の少ないライフステージにある者に対し、和食文化に慣れ親しむための普及活動を実施

- ・幼児が味覚の形成期に和食に慣れ親しむことで、和食好きとなる
- ・学校給食で和食を提供することで、和食を食べる食習慣が形成される
- ・育児中に、子どもの健康への影響を考え、食習慣への関心が生まれる



# 「和食」の保護・継承に向けた取組（①教育現場及び食育の取組）

- 和食文化を次世代に継承していくため、子どもたちや子育て世代に対して、和食文化への関心と理解を育むための事業等を推進している。
- また、食育による食文化の保護・継承を推進しており、都道府県等が行う活動の支援等に取り組んでいる。

## 次世代を担う子ども達への「和食」継承活動の推進

## 食育による地域の食文化の保護・継承活動の推進

### ○ 全国子ども和食王選手権

■ 次世代を担う子ども達に行事食や郷土料理等の和食文化を楽しく学習し、実践してもらうため、平成28年度から、低学年はお絵かき、高学年は郷土料理の発表や豆運び競争等で和食王を目指す「全国子ども和食王選手権」を開催。

■ 本年度は平成29年12月3日（日）に日本科学未来館で実施。



【和食王部門】優勝  
「私の岩手名物」  
秋田県湯沢市立湯沢西小学校

【和食お絵かき部門】  
全国金賞



「とくしまのきょうどりょうり  
いただきます」  
酒田市立松原小学校  
2年生 岩野 遼也

全国銀賞



「土ようのうしの日  
ひつまぶし！」  
扶桑町立柏森小学校  
2年生 竹川 陽翔

全国銅賞



三人で「いただきます」  
キッズアートサークル  
新座市立大和田小学校  
3年生 合田 悠斗

■ 都道府県、市町村、民間団体等が実施する農林漁業体験機会の提供、郷土料理教室等食文化の継承のための活動を支援。

■ 中でも、幼少期は食の大切さを学ぶ重要な時期であり、和食文化を伝える場として、給食の果たす役割は重要。

■ このため、地域の食育活動支援においても、和食給食の普及に向けて、和食給食の献立の開発・提供の取組を実施。また、子供や学校給食関係者を対象にした和食に関する授業や調理体験を実施。



味噌づくり体験



# 「和食」の保護・継承に向けた取組（②子育て世代・若者世代への取組）

- 次世代を担う世代の中でも特に、食生活の改善意識が高まりやすい子育て世代や若者世代をターゲットとして、平成28年度から和食文化の良さを理解してもらうための取組を実施している。

## 子育て世代・若者世代向け参加型ワークショップ

- パパママ向けや若者世代を対象として、和食文化への理解を深めるためのワークショップを開催



- 例えば、パパ・ママ世代を対象に、栄養学の専門家、和食料理人などによる和食文化のパネルディスカッションや、忙しい中でも自宅で簡単に実践ができ、子どもが喜ぶ和食レシピの調理実演を実施。



親子で和食文化を楽しんで学んでもらうための教材も制作。  
農水省HPからダウンロード可能。

<http://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/culture/index.html>

## 子育て世代向け食文化普及サイト

- 子育て世代が和食の良さを理解し、自宅で実践してもらうことを狙いとして、スマホ向けのウェブサイト「おうちで和食」を平成29年の「和食の日」（11月24日）に開設。
- 農林水産省ウェブサイト掲載の和食関係の情報をわかりやすく、かつ簡単に活用できるように発信。



子育て世代向け食文化普及サイト「おうちで和食」  
<http://ouchidewashoku.com/>

# 日本食・食文化によるインバウンド誘致：SAVOR JAPAN

- 増大するインバウンドを、日本食・食文化の「本場」である農山漁村に呼び込み、訪日外国人の更なる増加と農林水産物・食品の輸出増大につなげるといった好循環を構築していくことが重要。
- このため、「知ってもらう、来ってもらう」、「食べてもらう、泊まってもらう」、「買ってもらう」ための取組を一体的に推進。
- 特に、農泊地域において、多様な地域の食やそれを支える農林水産業、伝統文化の魅力で、訪日外国人旅行者を誘客する重点地域を農林水産大臣が認定し、SAVOR JAPANというブランドとして官民連携して農村漁村の魅力を海外に一体的に発信する制度を平成28年に創設。
- 美味しい日本食が食べられるのは勿論、地域の食文化にも触れることができる旅先として、訪日外国人旅行者の誘客を強化中。

## 知ってもらう、来ってもらう

### ①日本食・食文化の魅力発信

- ・ 訪日外国人旅行者を誘客する取組を「SAVOR JAPAN」として認定
- ・ 地域の食やそれを支える農林水産業、美しい景観等の観光資源の魅力を効果的かつ一体的に海外に発信



## 食べてもらう、泊まってもらう

### ②日本食・食文化の「本場」である農山漁村での訪日旅行客の受入体制の強化

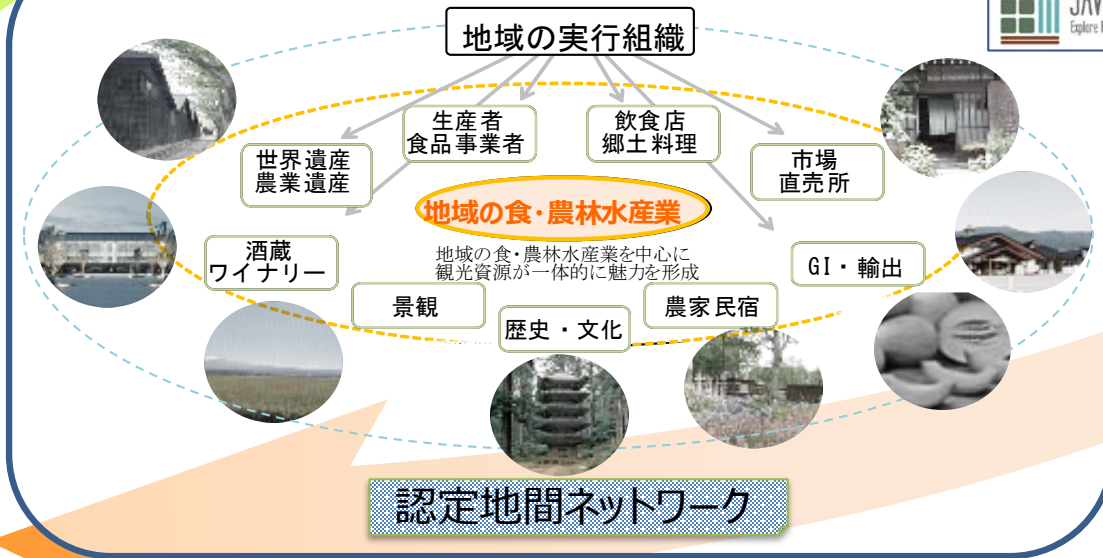


食のおもてなし（食べる）



農泊の推進（泊まる）

地域の食とそれに不可欠な農林水産業や特徴のある気候、風土、景観、歴史などの観光資源を活用



## 買ってもらう

### ③訪日外国人への農林水産物の販売促進



直売施設における販売促進



検疫の円滑化・体制強化

### ④訪日外国人の更なる増加と輸出等の新たな需要の創出（好循環の更なる拡大）

# 「SAVOR JAPAN」認定地域一覧

...平成29年度認定地域

...平成28年度認定地域

OBAMA食と農の景勝地  
実行委員会

(福井県小浜市)



へしこ

一社)京都府北部地域  
連携都市圏振興社

(京都府北部地域)



丹後ばら寿司

さめきの農泊 食文化海外発信地域  
推進協議会

(香川県さめき地域)



さめきうどん

フォレストピア高千穂郷  
ツーリズム協会

(宮崎県高千穂郷・椎葉山地域)

たからぼこう



神楽料理

一社)こまつ観光物産  
ネットワーク

(石川県小松市)



報恩講料理

馬瀬地方自然公園  
づくり委員会

(岐阜県下呂市馬瀬地域)



鮎



精進料理

鶴岡食文化創造都市  
推進協議会

(山形県鶴岡市)

あきたいぬ  
一社)秋田犬ツーリズム  
(秋田県大館地域)



きりたんぼ

食と農の景勝地  
十勝協議会

(北海道十勝地域)



チーズ

一関もち食推進会議

(岩手県一関市・平泉町)



もち料理

会津若松市食と農の景勝地  
推進協議会

(福島県会津若松市)



こづゆ

十日町市食と農の景勝地  
推進委員会

(新潟県十日町市)



へぎそば

浜松・浜名湖地域  
食×農プロジェクト推進協議会

(静岡県浜松・浜名湖地域)



うなぎ

紀の川グリーンツーリズム  
推進協議会

(和歌山県紀の川市)



一社)そらの郷

(徳島県にし阿波地域)



そば米雑炊